

平成29年度事業報告書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

I. 事業活動の概況に関する事項

1. 事業年度の主要経過

平成29年度の日本経済は、雇用、所得環境等の改善を受けて、穏やかな景気回復傾向にあると言われている。製造業、建設業、運輸業等では人手不足となっており、乳業界でも同様の状況が続いている。そのような中で、訪日外国人は増加を続け、2,800万人を超えている。その旅行消費額は4兆円以上であると言われている。ここ大阪でも、2017年の来阪外国人は1,100万人で3年前と比べると3倍に増え、消費額では、1兆1,700億円にも及ぶと言われている。

乳業界では、牛乳・乳製品の消費に関しては、健康志向の高まり等に支えられ、堅調な推移を見せた。生乳生産については、酪農家戸数や乳牛頭数の減少などにより年々減少し、生乳生産の基盤強化が大きな課題になっている。また、米国を除くTPP11（環太平洋連携協定）及び日欧EPA（経済連携協定）実施による国内農業への影響に伴う新たな対応、政策が求められている。

学乳事業については、中学校給食におけるデリバリー制度や選択制度の導入により種々の課題や問題を抱えるとともに、輸送費や人件費など学乳関連コストの高騰などにより、経営面でもリスクを背負った厳しい環境下に置かれた年でもあったが、関係各位・機関の協力を得て大過なく執行を終えることができた。

こうした中で、当協会は、「牛乳・乳製品の消費拡大」「衛生管理の徹底や安全衛生管理体制の構築」「品質表示に関する公正規約の遵守」「学校給食用牛乳の安定供給や供給制度の改善」を図るため、次の事業実績に示す通り、各般の事業を実施したところである。

II. 事業実績その1

1. 牛乳・乳製品の消費拡大

牛乳・乳製品の消費拡大については、会員それぞれが新商品開発やホームページ等を通じて消費拡大に努めるとともに、協会においては中央団体とも歩調をあわせて消費者に対する牛乳・乳製品への理解の醸成を図ったところである。さらに、ブロック会議等への参加促進や中央団体からの情報伝達などを通じて会員一体となった消費拡大に向けた意識の共有化を図るとともに、昨年度に引き続いて学校給食用牛乳供給事業の補助対象となっている新規利用推進事業等による生乳需要拡大事業の定着に努めた。

1) ブロック会議等の開催を通じた会員への消費拡大の要請

一般社団法人日本乳業協会上期ブロック会議	平成29年 7月 7日 大阪リバーサイドホテル
一般社団法人日本乳業協会下期ブロック会議	平成30年 2月 9日 大阪リバーサイドホテル
一般社団法人Jミルクブロック会議	平成29年 4月12日 大阪リバーサイドホテル

2) 中央団体からの情報の提供

一般社団法人日本乳業協会、一般社団法人Jミルクからの消費拡大に関する関連情報を会員に発信し、その周知に努めた。

3) 骨密度測定及び栄養指導事業の実施

一般社団法人日本乳業協会と都道府県協会会員との協同による育成・啓発活動として、堺市食育フェア（国際障害者交流センター）及び大阪府立布施北高等学校文化祭において骨密度測定及び栄養指導を実施した。

平成29年10月27・28日	測定人員 144人（堺市）
平成29年11月2日	測定人員 120人（布施北高校）

2. 衛生管理及び安全管理体制の構築

協会の重点事業として、牛乳・乳製品に対する事故防止及び安全性の確保等を図るため、次の事業を実施した。

1) 講習会等への参画

- 牛乳 HACCP 専門家養成講習会 平成29年 6月7日～9日
TKP ガーデンシティ心斎橋
- 官能評価員育成研修会 平成30年 1月25日・26日
(一財) 日本冷凍食品検査協会（神戸市）
- HACCP 導入型基準講習会 平成30年 2月 8日・9日
大阪梅田駅前ビジネスセンター
- 乳製品表示講習会 平成30年 2月16日
大阪梅田駅前ビジネスセンター
- 牛乳微生物講習会 平成30年 3月 2日
ガーデンシティプレミア大阪駅前

2) ブロック会議による衛生管理の周知

一般社団法人日本乳業協会上期ブロック会議	平成29年 7月 7日 大阪リバーサイドホテル
----------------------	----------------------------

一般社団法人日本乳業協会下期ブロック会議 平成30年 2月 9日
大阪リバーサイドホテル

3) 各種情報の提供

国、大阪府、一般社団法人日本乳業協会、一般社団法人Jミルク、全国飲用牛乳公正取引協議会等からの通知や関連情報を会員に発信し、その周知・啓発に努めた。

3. 品質・表示にかかる公正規約の遵守

消費者の正しい商品選択と公正な市場競争に資するために「飲用乳の表示に関する公正競争規約」等の遵守に努めるとともに定期成分検査の実施等品質・表示の適正化に努めた。

また、公正規約の周知を図るため、全国飲用牛乳公正取引協議会が行う近畿ブロック会議及び検査技術研修会への会員の積極的な参加に努めた。

1) ブロック会議の開催

全国飲用牛乳公正取引協議会上期ブロック会議
平成29年 7月 7日 大阪リバーサイドホテル

全国飲用牛乳公正取引協議会下期ブロック会議
平成30年 2月 9日 大阪リバーサイドホテル

2) 成分検査業務

期	1期成分検査	2期成分検査	3期成分検査	合計
検体数	89	88	92	269

3) 検査技術研修会

- ・開催状況 年間10回開催（合併検査コース、分析基礎コース、細菌検査コース）
受講料：有料
実施場所：（公財）日本乳業技術協会 乳業会館
- ・受講会員 日本酪農協同㈱、ビタミン乳業㈱

Ⅲ. 事業実績その2

1. 衛生管理助言事業の実施

安全安心な牛乳を供給するため、公益社団法人大阪食品衛生協会食品検査センターの協力を得てHACCPに準ずる衛生管理にかかる助言・指導を次の通り実施した。

(対象会員4社)

- (1) 第1回 6月26日、6月27日、6月28日、6月29日
- (2) 第2回 9月11日、9月12日、9月13日、9月21日
- (3) 第3回 12月7日、12月11日、12月18日、12月19日
- (4) 第4回 2月26日、2月27日、2月28日、3月1日

2. 乳質管理委員会の開催

良質かつ安全安心な生乳を安定的に確保するため、次の通り乳質管理委員会を開催し、生乳等の検査方法の検討協議、病事情報の収集やその対策、牛乳・乳製品をめぐる情勢をもとに酪農指導方法等の検討・協議を進めた。

- ・委員 ㈱明治、森永乳業㈱、雪印メグミルク㈱、協同乳業㈱、
日本酪農協同㈱、㈱いかるが牛乳、いかるが乳業㈱、
泉南乳業㈱、ビタミン乳業㈱ (委員長：森永乳業(株))
- ・開催日 7月27日、10月26日、12月20日、3月22日

3. 衛生研修会等の実施

食品工場における衛生知識や衛生管理技術の向上を通じて、より安全安心な牛乳の供給を確保することを目的として、次の通り研修会を実施した。また、この研修会が府民や保護者においても乳・乳製品を理解する上で有益な情報源となることから一般参加を呼びかけるとともに、その内容をホームページで公開した。

- 衛生研修会 平成29年8月21日 マイドームおおさか

・「HACCPの制度化に関して～行政の立場から～」

大阪府健康医療部食の安全推進課監視指導グループ

監視指導総括主査 安部 晶子 氏

大阪府健康医療部食の安全推進課食品安全グループ

検査指導総括主査 伊藤 香織 氏

4. 学校給食用牛乳供給事業

本事業は「酪振法」に基づき、安全で品質の高い国内産の牛乳を学校給食用に継続して計画的かつ効率的に供給することを内容とする事業であり、「学校給食用牛乳供給対策要綱」（事務次官通知）によりその実施が図られている事業である。

当協会は、今年度においても国の施策の実施主体として、大阪府内において下記の学校給食用牛乳供給事業の執行に努めた。

1) 国庫補助事業実施状況(事業実施主体事業)

(単位：円)

	区 分	精算金額
1 学校給食用牛乳供給円滑化推進事業	学校給食用牛乳等推進協議会の開催	16,000
	学校給食用牛乳供給事業実施計画策定等に係る会議の開催	122,000
	実態調査等	615,693
2 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業	学校給食用牛乳安定需要確保対策事業	79,560,163
3 高付加価値牛乳地域利用推進事業		0
4 学校給食用牛乳新規利用推進事業		98,487
計		80,412,343

2) 大阪府学校給食用牛乳推進協議会等の開催

「大阪府学校給食用牛乳推進協議会規約」に基づき、学校給食用牛乳供給の円滑な推進に向け本年度は、「大阪府学校給食用牛乳推進協議会規約の改正について」「紙化促進について」「災害等予備費の取り扱いについて」「学校給食用牛乳における飲み残し等残乳調査」等々について協議を行った。

(1) 推進協議会 7月26日、12月12日

3) 学校給食用牛乳供給事業にかかる代表者会議

(1) 学校給食用牛乳供給代表者会議

平成30年 3月 5日 ホテルモントレグラスミア大阪

- ・平成30年度学乳供給事業の全容について
- ・国庫補助事業について
- ・全国学乳価格状況について

(2) 学校給食用牛乳供給事業者担当者会議

平成30年 3月 7日 ダイワロイネットホテル四ツ橋

- ・平成30年度学乳供給事業についての全容及び事務に係る処理等の説明
- ・国庫補助事業について
- ・緊急連絡体制について
- ・学乳供給にかかる各学校の納品時間について

IV. 協会の運営状況に関する事項

定時総会及び理事会を開催し、定款に基づき協会の重要な意思決定及び協議を行った。

1) 総会の開催

第41回定時総会

- ア 開催日時 平成29年 6月 8日
- イ 出席会員数 12社
- ウ 出席理事・監事数 10名
- エ 開催場所 三重県 湯の山温泉鹿の湯ホテル
- オ 主な議案と議決状況

「平成28年度事業報告及び収支決算報告」、「平成28年度決算剰余金の処分案」、「公益目的支出計画実施報告書」「平成29年度事業計画案及び収支予算案」「役員改選案」

以上の5議案を審議し、満場異議無く承認された

2) 役員会の開催

(1) 第1回役員会

- ア 開催日時 平成29年 5月18日 14時
- イ 出席理事数 9名
- ウ 出席監事数 1名
- エ 開催場所 大阪リバーサイドホテル
- オ 主な議案の議決状況

「第41回定時総会の開催日程について」、「第41回定時総会議案書について」(平成28年度事業報告及び収支決算報告の件)、(平成28年度決算剰余金処分案の件)(公益目的支出計画実施報告書)(平成29年度事業計画案及び収支予算案の件)

審議の結果、以上の議案及び協議事項について出席した全役員が了承した。

(2) 第2回役員会

- ア 開催日時 平成29年 6月8日 16時30分
イ 出席理事数 9名
ウ 出席監事数 0名
エ 開催場所 三重県 湯の山温泉鹿の湯ホテル
オ 主な議案の議決状況
会長 (庄司 勝氏)
副会長 (嶋 雄彦氏、田崎 裕氏、橋本光宏氏)
常務理事 (八巻二三一氏) が選出された。

(3) 第3回役員会

- ア 開催日時 平成29年12月13日 17時30分
イ 出席理事数 7名
ウ 出席監事数 1名
エ 開催場所 かに道楽 網元本館
オ 主な議案の議決状況
・30年度学校給食用牛乳の動向について
・新年互礼会の開催について (平成30年1月15日開催)
・30年度見積合わせの日程について
・平成30年3月の役員会日程
・Jミルク酪農乳業産業基盤強化事業・生乳及び牛乳乳製品需給見通し説明会日程

(4) 第4回役員会

- ア 開催日時 平成30年 3月26日 15時
イ 出席理事数 7名
ウ 出席監事数 1名
エ 開催場所 大阪府牛乳協会 会議室
オ 主な議案の議決状況
「平成29年度決算見込みに関する件」、「平成30年度暫定予算案」、
「退職金規則の改正に関する件」が審議されるとともに「平成30年度監事監査」「第1回役員会及び定時総会開催日程」について協議がなされた。
審議の結果、以上の議案及び協議事項について出席した全役員が了承した。

3) 監事監査の実施

- ア 開催日時 平成29年 5月 9日 14時
イ 開催場所 大阪府牛乳協会 会議室
ウ 監査結果
鳩勝彦による監査の結果、適正との監査結果報告を受けた。

V. 諸会議に関する事項

- 1) 乳業再編ブロック説明会の開催 平成29年 7月10日
大阪リバーサイドホテル
- 2) 新年互礼会の開催
平成30年 1月15日 参加者36名 帝国ホテル大阪
- 3) 近畿ブロック乳業協議会の開催
平成16年3月に設立された当ブロック会議を開催し、乳業界が抱えている「諸課題」並びに「学校給食用牛乳供給問題」についての協議を行った。
・平成30年 2月 9日 大阪リバーサイドホテル
- 4) 中央団体の総会等
- 一般社団法人日本乳業協会定時社員総会 平成29年 5月19日
ホテルグランドパレス
- 一般社団法人Jミルク定時総会 平成29年 6月16日
KKR ホテル東京
- 全国飲用牛乳公正取引協議会定時委員会 平成29年 5月26日
ホテルメトロポリタンエドモンド
- 5) 他団体の総会等
- 公益社団法人大阪食品衛生協会総会 平成29年 5月29日
プリムローズ大阪
- 一般社団法人大阪府畜産会定時総会 平成29年 6月26日
大手前建設会館
- 一般社団法人全国牛乳流通改善協会 平成29年 5月23日
アルカディア市ヶ谷

VI. その他

1) 会計検査院の会計実地検査受検

平成30年2月28日、当協会が国から交付を受けている次の補助金について、会計検査院の会計実施検査を受けたところ、特段の指摘、指示事項等は無かった。

- ・ 平成26、27年度の農林水産省所管国産農畜産物・食農連携強化対策事業費補助金（(項) 国産農畜産物・食農連携強化対策費）
- ・ 平成28年度の農林水産省所管国産農産物生産・供給体制強化対策事業費補助金（(項) 国産農産物生産・供給体制強化対策費）

平成29年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。